

地学オリンピック支援委員会

第8回議事録

2014年1月20日
委員長 田中 義洋

期 日：2014年1月11日（土）13：00 - 15：00

場 所：日本地質学会事務局

出席者：田中 川村 浅野 川勝 小泉 芝川 久田 渡来 （出席者8名で委員会は成立）

欠席者：香束 平田

議 題

1. 第7回国際地学オリンピックインド大会の報告
2. 地学オリンピックキャラクターデザインコンテストへの協力・支援
3. 第6回日本地学オリンピック予選の試験問題評価
4. 国際地学オリンピック日本代表選手の研修協力依頼に関して
5. 第10回国際地学オリンピック三重大会の進捗状況報告
6. 今後の活動計画

詳 細

1. 第7回国際地学オリンピックインド大会の報告

今回は23ヶ国・地域から90名の高校生の参加があった（オーストリア、ナイジェリア、バングラデシュは初参加）。これまでと比較して出題傾向に大きな変化はないが、今回から廃止される予定だった試験問題の翻訳については、今後も母国語への翻訳が続行される見通しである（Chirorin!11号参照）。

2. 地学オリンピックキャラクターデザインコンテストへの協力・支援

このコンテストは地学オリンピックの広報普及活動の一環として本委員会が発案した企画である。これに関して、NPO 法人地学オリンピック日本委員会瀧上事務局長（オブザーバーとして同席）から、地質学会との共催で実施し、応募と審査に関して支援の依頼申し出があった。本委員会では、地質学会の承認が得られたうえで、協力することを委員間で確認した。さらに、実現した場合の、広報活動や応募要領に関しても検討を行った。

3. 第6回日本地学オリンピック予選の試験問題評価

2013年12月15日に実施された予選には1689名の応募があり、受験者は1462名であった。今回の予選問題に関して、小泉委員からは試験問題に関する高等学校地学教員からの感想について報告があった。芝川委員からは問題と試験範囲（地学基礎）との対応関係、ならびに地学基礎の教科書5冊間での「発展」の取扱い方の差異について詳細な報告がなされた。その後、各委員からも問題に関する感想やコメントが述べられ、今後、3月末までの間にMLにてさらに試験問題の評価を行うこととした。

4. 国際地学オリンピック日本代表選手の研修協力依頼に関して

本委員会では、NPO 法人地学オリンピック日本委員会の依頼により、国際地学オリンピック日本代表選手の研修についても支援を行っている。川村委員より研修状況の説明がなされた。その際、例年、地域ごとに研修担当がいれば、より効果的な研修が行えるのではないかとの意見が出された。今年、依頼に応じて、芝川委員と川勝委員が関西在住の選手に対して支援することを確認した。

5. 第 10 回国際地学オリンピック三重大会の進捗状況報告

NPO 法人地学オリンピック日本委員会では税制優遇措置が可能な認定 NPO 法人化の申請手続きを進めている段階であること、認定 NPO 法人に移行後に、寄付活動が行われる予定であることが報告された。なお、税制優遇措置を必要としない寄付に関しては、随時受け付けているとのことである。

6. 今後の活動計画

2014 年の主の活動としては、以下の 3 つを行うことを確認した。また、9 月 13 日～15 日に実施予定の鹿児島大会でも委員会を開催する方向で調整することとした。

- ① 第 6 回予選問題評価報告提出
- ② 地学オリンピックキャラクターデザインコンテスト支援
- ③ 小さな科学者のつどい・地質情報展での地学オリンピック掲示用の紹介ポスター作成

以上